



TITLE:

図書館の動き ・ パッケージ系電子出版物も納本対象に ・ 第74次国立7大学附属図書館協議会開催
・ 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会開催 ・ 購入外国雑誌の重複調整が行われる

AUTHOR(S):

CITATION:

図書館の動き ・ パッケージ系電子出版物も納本対象に ・ 第74次国立7大学附属図書館協議会開催 ・ 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会開催 ・ 購入外国雑誌の重複調整が行われる. 静脩 2000, 37(3): 23-24

ISSUE DATE:

2000-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37604>

RIGHT:

..... 図書館の動き

パッケージ系電子出版物も納本対象に：国立国会図書館10月から

国立国会図書館への納本は、これまで紙に印刷された出版物などが対象でしたが、国立国会図書館法の一部改正により、平成12年10月1日以降発行されるパッケージ系電子出版物も、納本の対象となりました。パッケージ系電子出版物とは、有形の記録媒体に情報を固定し頒布される電子出版物のことで、CD ROM、DVD、ビデオカセットテープなどの出版物をいいます。以下のものが納本の対象となる出版物です。（国立国会図書館法（昭和23年法律第5号）第24条） 1. 図書 2. 小冊子 3. 逐次刊行物 4. 楽譜 5. 地図 6. 前各号に掲げるもののほか、印刷その他の方法により複製した文書又は図画 8. 蓄音機用レコード 9. 電子的方法、磁気的方法その他の人の知覚によっては認識することができない方法により文字、映像、音又はプログラムを記録した物。なお、国の出版物の納入部数も今後は5部に改正となります。

第74次国立七大学附属図書館協議会開催

標記の会議が、平成12年10月20日、九州大学附属図書館を当番大学として、七大学から図書館長、部課長29名が出席して開催された。会議では、文部省学術情報課長から所管事項に関する説明があり、次いで協議に入り、情報基盤センター等の整備・運営状況、学術雑誌およびデータベースの諸問題への対応、電子ジャーナルの導入・利用の問題、図書館運営に関する今日的な諸問題への対応、学習図書館機能の充実・強化のための財源確保、ICタグを利用した図書館総合管理システムの可能性、国立大学の独立行政法人化に係る附属図書館の在り方等の話題を中心に討議が行われた。

これに先立ち、平成12年10月19日、第33回国立七大学附属図書館事務部課長会議が20名の出席のもとに開催された。協議は、資料共同利用の促進、資料共同利用センター（仮称）の整備、ネットワーク情報リソースのためのメタデータの共同整備、電子ジャーナル導入と外国雑誌の部局間購入調整、IT推進による図書館の変革、留学生に対するサービスの在り方、自己点検評価に係る外部評価の実施等について討議された。

国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会開催

平成12年10月12日、国立国会図書館において開催された。国立国会図書館側は図書館長以下14名、大学図書館側からは国公立大学図書館協力委員会関係館の図書館長等14大学から27名のほか、文部省、日本図書館協会から出席があった。今回の懇談テーマは、「電子出版物の提供と課題」で、国立国会図書館における電子情報の提供、大学図書館における著作権の問題をめぐる諸動向の二つの報告があり、それをもとに懇談が行われた。

購入外国雑誌の重複調整が行われる

現在、外国雑誌の重複率は48%もあり、財政的な面でも検討せざるを得ない状況となりました。商議会は「外国雑誌問題検討専門委員会」を置き、6月から8月にかけて調整を進めてきました。基本方針（原則として京都大学での外国雑誌の重複を無くする。当面は電子ジャーナルが使える雑誌を調整の対象とする。節約の出来たお金で京都大学に無い雑誌の購入を検討する。）を決め、検討期間が短いので、さらに、調整対象を 50万円以上のもの 学内で10部以上購入しているもの 50万円以下でも調整可能なものに絞って、学部の協力のもとに実施されました。今回、64タイトルが調整され、約5000万円節約する結果となりました。この活動は継続して行う予定となっています。

目 次

外国の農家・農業・農業政策を対象にした研究と図書・統計・資料	1
キャンパスネットワークにおける安全管理体制	3
2000年京都電子図書館国際会議開かれる	6
電子図書館京都コミュニケ	8
カリフォルニア大学システムにおける資料保存	10
教官寄贈図書一覧（平成12年8月～10月）	13
附属図書館利用統計（平成11年度）	15
農学部図書室の文献複写業務	21
長期研修に参加して	22
図書館の動き	23
パッケージ系電子出版も納本対象に 第74次国立七大学附属図書館協議会開催 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会開催 購入外国雑誌の重複調整が行われる	

編集後記

日本で初めて開かれた電子図書館国際会議も無事おわり関係者一同ホットしています。また、恒例の展示会「連歌の世界 電子図書館で公開された貴重書」と国際日本文化研究センターから光田和伸助教授を迎えての記念講演会「連歌という遊び」も多くの市民を交え大入り満員で大成功を納めることが出来ました。京都大学附属図書館が所蔵している貴重書は電子図書館、展示会を通じて「大学図書館の市民公開」へ着実に一歩踏み出したと言えるのではないのでしょうか。（G）